

日時 : 2015年8月19日(水) 13:00 ~ 17:00

場所 : 塗料報知新聞社 会議室

出席者 : 分科会長 : 窪井要((有)久保井塗装工業所)

副分科会長: 高橋大(株三王)

幹事 : 平野克己(日本塗装機械工業会)、有馬弘純(塗料報知新聞社)、
石井信行(大塚刷毛製造株)、稲田建(株花菱塗装技研工業)、
魚谷英未(株アースクリーンテクノ)

相談役 : 福田良介(日本パウダーコーティング協同組合)

アドバイザー: 片山眞司(J&Sエンジニアリング株)、

木下稔夫(東京都立産業技術研究センター)、坂井秀也(坂井技術士事務所)、

田村吉宣(株アースクリーンテクノ)、藤井俊二(株三菱化学テクノリサーチ)

ゲスト : 須田威志(株豊田自動織機)、高畑和幸((有)シーティータカハタ)、

望月徳三(東京ガスケミカル株)、吉野和彦(株明治機械製作所)、

渡邊勇太(城南コーテック株)、佐藤佳奈子(埼玉県環境部大気環境課)、

小川智江(東京都環境局環境改善部化学物質対策課)、

早川和成(旭硝子株)、高橋善之(大塚刷毛製造株)、村田晋(株村田塗料店)、

宮川昇(東和酵素株)、吉田英夫(株ワイピーシステム)、

小林恵介、野々口篤(原田産業株)、白石公郎((株)サトー)、

青木薫(コーティングメディア)

事務局: 藤井謙二郎(塗料報知新聞社)

30名 敬称略

***** 議題 *****

1. 分科会長挨拶 (窪井)

昨日まで知人のフィリピン工場のアドバイスに行っていた。11月第2週に再度訪問予定。今回の報告は後程します。今回も(開始直後で)24名と多くの方に参加いただきありがとうございます。

2. 初参加者挨拶

埼玉県環境部大気環境課 企画・監視担当 佐藤佳奈子

(株)村田塗料店 代表取締役 村田晋 (日本パウダーコーティング協同組合北海道支部長)

原田産業株 アドバンスツールチーム セールスマネージャー 小林恵介

FLECS クリーンテクノロジーチーム エリアマネージャー 野々口篤

3. 議題

3-1 IPCOからのお知らせ

① IPCO会費の件(平野、有馬)

IPCOの銀行口座も開設し準備が整ったので下半期(10~3月)から会費を徴収する。配布した入会申込書に記入した方から一定の審査のうえ請求書を送付するようになるのでなるべく早く対応いただくようお願いする。

② セミナー計画進捗(魚谷)

九州セミナー(稲田)

9月14日(月)、九州工塗協主催で宮崎市宮日会館にて開催する。

講演内容は下記で決定。

窪井 塗装技術の担うもの

片山 自動車塗装における環境問題と最新技術動向

吉野 「スプレーガン開発における CFD の活用」

上村一之(タクボエンジニアリング) インクジェット塗装の今後

田村 「困る静電気 と 嬉しい静電気」

地元の工業会等にも案内をお願いし、組合員以外にも広く参加を促している。

近畿経済産業局 VOC 排出抑制対策セミナー(平野)

9 月 14 日(月)、八尾商工会議所にて開催される。

塗装工程における VOC 対策 というテーマで 平野氏が講演する。

パウダー協北海道支部セミナー(村田、高橋)

日程は 10 月 2 日(金)に決定。今回は初回の為、半日・50 名程度の来場見込みで企画を進める。

近々に講演内容を確定する。

CEMA シンポジウム

10 月 23 日(金)に東京塗料会館にて開催(昨年同様大阪に同時中継)

IPCO として 1.5 時間の枠があり、(株)サトー、東成エレクトロビーム(株)、(株)三王の 3 社が講演。

IPCO 枠以外でも窪井氏、吉野氏が講演予定。

Conafes(仮称)

(株)三王の創業 50 周年記念イベント。展示および講演で 11 月 6~8 日に開催。

IPCOからも講演をお願いしたい。内容はこれから決めていく。

埼玉県 VOC セミナー

11 月 18 日(水) 埼玉県主催で浦和コルソホールにて開催。

塗装に限定せず印刷等 VOC 全般にわたる内容でとの講演依頼あり。窪井氏が講演予定。

日本海セミナー

福井県にて、主催は(有)いしま(塗料販売店) 又は、越前漆器協同組合で調整中。

日程は 11 月 20 日(金)に決定。会場は、越前漆器伝統産業会館。

講演内容は、

窪井 挨拶

片山 工業塗装におけるゴミブツ不良削減提案

坂井 漆器の工業塗装

吉野 スプレーガン開発における CFD (数値流体力学) の活用

魚谷 帯電防止用薬剤「エレクリーナー」

田村 新静電塗装技術

以上のほか、

広島、岡山でVOCセミナーの講演依頼あり。開催は 11 月、12 月。(平野)

東京都環境局より紹介を受けた北九州市からはまだ正式な依頼はない。

3-2 環境技術分科会

① 温室効果ガス問題の概要 (片山)

温室効果ガス(英: greenhouse gas)は、二酸化炭素だけでなく、環境省において年間排出量などが把握されている物質としてメタンなど 6 種類ある。1906 年から 2005 年までの 100 年間で、地球の平均気温は 0.74℃上昇したとされ、大気中の二酸化炭素濃度は 379ppm(2005 年)と、産業革命前の約 280ppm の約 1.4 倍となっている。さらに、気温上昇のスピードは進んでいて、厳しい温暖化対策が取られなかった場合は今世紀末で 2.6~4.8℃の温度上昇となる。今後数十年間の大幅な排出削減が極めて重要。

2030 年に向けての温室効果ガス排出量削減目標として「26%削減(2013 年比)」を政府決定。

CO2換算で約 10 億 4200 万トンにすることを目指す。電力については、2030 年時点で原子力が 20~22%、再生可能エネルギーが 22~24%。

CO2 排出量全体のうち、産業が 34%。自動車塗装は全産業中の 1.8%

塗装の寄与度は極めて軽微だが、環境対策投資が不要な省エネ活動を通し、温室効果ガスの低減を図るべき。塗装への影響は 車の燃費改善 → 軽量化 → 塗装工程・設備の変更 の順。

② 豊田自動織機（須田）

IPCOと共有したい解決課題として 品質、環境、安全 に大別できる。個々の問題の情報を共有し解決していきたい。

③ (株)サトー（白石）

小泉塗装工業所と内山氏と来週から打合せの予定。

④ 官公庁情報（藤井）

厚生労働省関係

昨年6月労働安全衛生法改正 来年6月施行。リスクアセスメントの義務化。

塗装・印刷・めっき業者向けにリスクアセスメントを簡易に行う支援ツールを作成・提供。

製造業・販売業者向けに SDS提供と活用支援を促す広報講習会を東京、大阪で開催。

爆発・火災等に係るリスクアセスメント手法の調査・支援ツールを開発。

特許庁関係

特許出願技術動向調査 塗料が対象に挙がっている。

塗料技術俯瞰図、技術開発競争や市場競争に関しての現状と将来展望、塗料の市場環境調査

中国市場や中国で取引をしている事業者の製品情報

「職場の安全サイト」に多くの貴重な情報が公開されている(田村)

3-3 プレゼン:原田産業(株)

原田産業は大正12年に創業、大阪に本社をもち、資本金3億円、従業員200名弱の会社。

医療製薬、食品、エレクトロニクス関連、造船、機械、建築など幅広い業界に資材を供給する商社。

今回は、静電気対策製品とVOC対策洗浄液の紹介。

静電気対策製品

静電気対策製品、ゴミ・異物対策製品、真空プロセス製品、見える化関連製品とカテゴリ化し、様々な業界のゴミ・異物対策に対応。

静電気除去装置イオナイザーはバータイプ、フロアタイプなど多様な種類がある。

VOC対策洗浄剤 H-TECH ECO CLEAN α

3年ほど前から取扱い始める。昨年夏以降、引き合い多数あり。

原料は、植物性で大豆由来。引火点なし。再生可能。60-70℃に加熱し、超音波洗浄。

3-4 東京都環境局 VOC 対策セミナー結果報告（小川）

7月31日(金) 都民ホールで開催。IPCOからは田辺塗工所 田辺社長、三王 高橋 が講演。

来場者は176名。IPCO2名の講演は、事前興味より聴講後のほうが評価が高かった。

実際の展示は多数の方が興味深く見ていただいて好評だった。

化学物質対策セミナーを10月1日に開催。物質規制の動向、環境局 震災対策。

3-5 フィリピンの塗装事情（窪井）

写真をもとに現地の状況を説明。前処理から粉体塗装まで問題が多い。次回詳細に報告。

※次回分科会開催予定

第13回環境技術分科会 2015年10月21日(水) 13時 ~ 17時 塗料報知新聞社 会議室

————— 以 上 —————